

緩和ケアだより

平成27年度 第1号

新体制緩和ケアチームのお知らせ



第二期がん対策の中間報告を受けて、都道府県がん診療連携拠点病院には「緩和ケアセンター」の設置が義務づけられました。当院では、中央診療部のセンター化に伴い、「緩和ケアセンター」の名称でしたが、厚労省の認定基準では、施設内の緩和ケア充実のみならず、県内の緩和ケアの向上、緩和ケア研修会の充実、地域緩和ケア連携、緊急緩和ケア病床の確保を行い、これらの活動をPDCAサイクルで客観的再評価更新を行う事になりました。これらの業務を遂行するために、新しく人員配置されました。しかしながら、与えられた課題は多く、特に患者スクリーニング、緩和ケア研修会、緊急緩和ケア病床に関して、皆様のご協力なくしては達成されません。

緩和ケアは患者・家族の生活や人生観にもとづき、治療と平行して提供されてゆくものなので、今後も皆様と共に患者・家族に寄り添った活動を行ってゆきたいと思います。



緩和ケアセンター長
安藤 秀明



緩和ケアセンター
ゼネラルマネージャー
伊藤 真弓

この度、緩和ケアセンターに異動となりました伊藤真弓と申します。

がんと診断された時から緩和ケアが提供されることは、周知の事実のはずですが、中々そのことが浸透せず、現在に至っているこの現状に、国は業を煮やし、がん拠点病院の要件をより具体的にしてきた（私が勝手にそう思っているだけです）ことは、がん患者さんにとっては、喜ばしいことだと思います。

これから、新体制でスタートするわけですが、私の役職名はゼネラルマネージャー・・・略してGMだそうです。緩和ケアセンターの機能を管理・調整する役割とのこと。私はこのセンターで志の高いスタッフに囲まれ、まだ異動後1ヶ月もたっていませんが、とてもよい環境の中にいることを実感しています。

しかし、今の自分の役割を考えると、さすがに不安感は否めません。そこでGMを「がんばれ真弓」と勝手に略し、心を奮いたたせております。皆様のお力を借りて、緩和ケアセンターの発展に尽くしたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

秋田大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

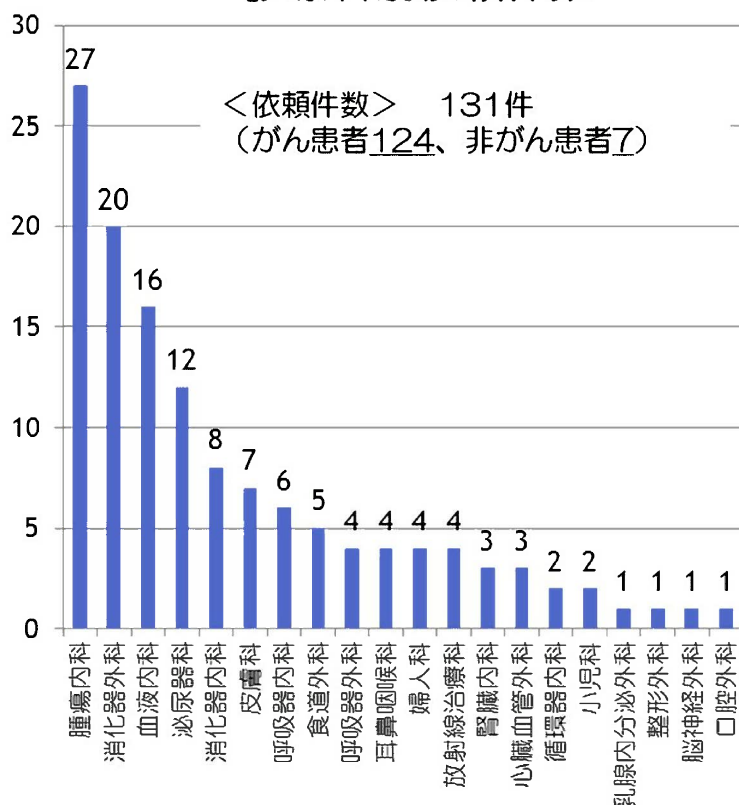
内線：6223

メールアドレス：kanwa-t@hos.akita-u.ac.jp

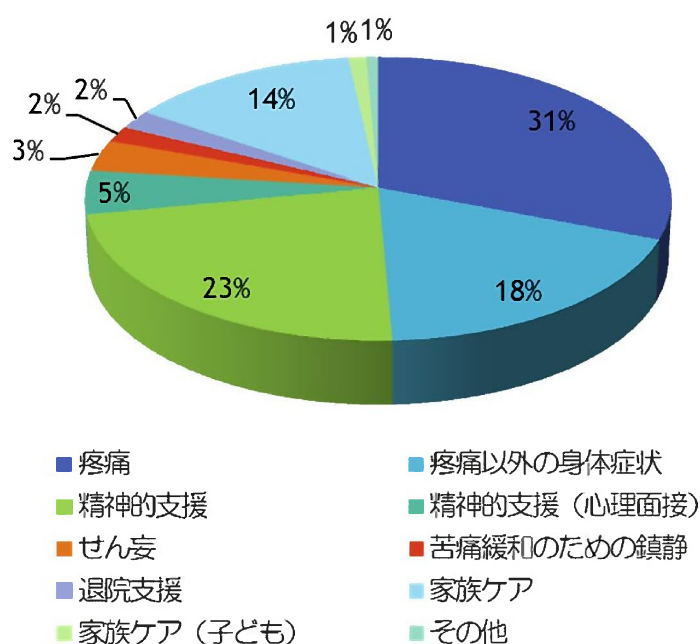
<平成26年度 緩和ケアチーム活動実績>

平成26年度の依頼件数は131件と、平成25年度の83件を大きく上回りました。依頼されるケースも多岐に渡り、年々困難度が増している印象もあります。このことから、緩和ケアが浸透してきていることを実感すると共に、緩和ケアチームの専門性や機能をブラッシュアップしていくことが求められていると痛感しています。今後も患者・家族のQOL向上に貢献できるよう、そして皆さまに「緩和ケアチームに相談して良かった」と思ってもらえる活動ができるよう努力してまいりたいと思いますので、緩和ケアに関する悩み、問題などありましたら気軽にご相談ください。

診療科別依頼件数



支援内容



「新体制」緩和ケアセンター説明会のお知らせ

当院では、がん診療連携拠点病院の診療機能強化を目的として、平成27年4月1日に「緩和ケアセンター」が整備されました。部署としての名称は「緩和ケアセンター」と変化はありませんが、機能や役割が拡大されていくこととなります。このことを受けて、下記の通り説明会を開催することとなりましたので、多くの皆さまのご参加をお願いいたします。

日 時：5月14日（木）17:30～（1時間程度）

場 所：第2病棟2階 多目的室

内 容：1) 緩和ケアセンター概要
2) 緩和ケアチーム・外来について
3) がん看護外来・苦痛のスクリーニングについて
4) 緩和ケア研修会について